

## 1 人口動態

人口は19年連続で減少

	人口増減	自然増減	出生		社会増減	県外転入	県外転出
			出生	死亡			
平成27年(a)	-3,938	-2,638	4,628	7,266	-1,300	10,507	11,807
平成26年(b)	-3,653	-2,544	4,548	7,092	-1,109	10,485	11,594
対前年(a-b)	-285	-94	80	174	-191	22	213

## 2 自然動態

17年連続で自然減少となり、減少数は過去最大

自然動態は2,638人の減少で、前年と比べ減少数は94人拡大した。

月別にみると、出生数は12月が416人、死亡数は1月が731人と最も多かった。また、すべての月で自然減少となり、自然減少数は1月が331人と最も多かった。

市町村別に自然増減をみると、すべての市町村で自然減少となっている。自然減少数は鳥取市が511人と最も多かった。自然減少率（対1,000人比）は日南町が26.0%と最も高かった。

※ %（パーミル）：千分率（1%＝0.1%）

## 3 社会動態

1,300人の転出超過で、14年連続の社会減少

社会動態は1,300人の転出超過で、前年と比べ転出超過数は191人拡大した。

実移動者総数について、月別にみると、3月が7,182人、4月が4,527人となり、この2か月間で年間実移動者総数の4割を占めた。

年齢5歳階級別にみると、転入超過数は30～34歳が127人、転出超過数は20～24歳が1,051人と最も多かった。

地域別（都道府県別）にみると、県外転入超過数は島根県が73人、県外転出超過数は大阪府が442人と最も多かった。

市町村別にみると、米子市、日吉津村及び伯耆町で転入超過となっているほかは転出超過となっている。転入超過数は伯耆町が78人、転出超過数は鳥取市が531人と最も多かった。転入超過率（対1,000人比）は日吉津村が7.2%、転出超過率（対1,000人比）は境港市が8.0%と最も高かった。

※ %（パーミル）：千分率（1%＝0.1%）